PANDEMIC

パンデミック：新たなる試練

マット・リーコック作

君たちは、人類を滅亡させかねない4種類の病原体に立ち向わなければならない、高度な技術を持った医療研究チームの一員だ。

君たちのチームは、病原体の感染の拡大を食い止め、治療薬を開発するために、世界中を飛び回ることになる。病原体が世界全体を覆う前に、これを撲滅すべく、個々の技術や能力を生かして、チーム内で力を合わせなければならない。病原体が拡散（アウトブレイク）し、疫病が加速的に拡がるまで残された時間はわずかだ。

君たちは、時間内に治療薬を発見できるだろうか？　人類の命運は君たちの手にゆだねられている！

内容物



役割（ROLE）カード 7枚

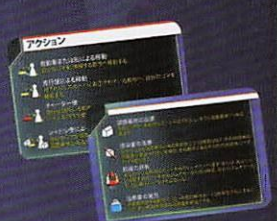


プレイヤーのコマ 7個





プレイヤーカード 59枚
（都市カード48枚、エピデミックカード6枚、イベントカード5枚）



参照カード 4枚



感染カード 48枚



病原体コマ 96個
4色各24個



治療薬マーカー



感染率マーカー 1枚



アウトブレイクマーカー
1枚



調査基地のコマ 6個

ゲームボード 1枚

ゲームの概要

このゲームでは、あなたと仲間のプレイヤーは、病原体対策チームの一員となって協力し合い、人類滅亡を招きかねない4種類の病原体（青、黄、黒、赤）が地球全体を覆う前に、治療薬を発見し、アウトブレイクを防がなければなりません。

パンデミックは協力型ゲームです。勝つ時も負ける時も全員一緒です。

4つの病原体の治療薬すべてを発見すれば勝利です。以下の場合、負けとなります。

- 8回目のアウトブレイクが発生したとき（世界中がパニックになります）。
- 病原体コマを配置する必要がある際に、共通のストックの残りの病原体コマが足りなくなったとき（病原体が拡散しきったことになります）。
- プレイヤーカードを引くときに、プレイヤーカードの山札のカードが足りなくなったとき（あなたのチームは時間を使い果たしました）。

各プレイヤーは、チームのチャンスを拡大する特別な能力を持つ役割を担当します。

ゲームの準備

1 ゲームボードとコマの配置

プレイヤー全員の真ん中にゲームボードを配置します。調査基地コマ6個と病原体コマをゲームボードの横に置きます（ここが共通のストックになります）。病原体コマは色ごとに分けておきます。調査基地コマ1個をアトランタに配置します。

アトランタは、CDC（アメリカ疾病管理予防センター/The Centers for Disease Control and Prevention）の本拠地になります。



病原体コマ



2 アウトブレイクマーカーと治療薬マーカーの配置

アウトブレイクマーカーを、ゲームボード上のアウトブレイクの「0」のスペースに配置します。治療薬マーカーは「ビン側」を表にして、治療薬発見エリアの近くに配置します。

4 各プレイヤーへカードとプレイヤーコマを配る

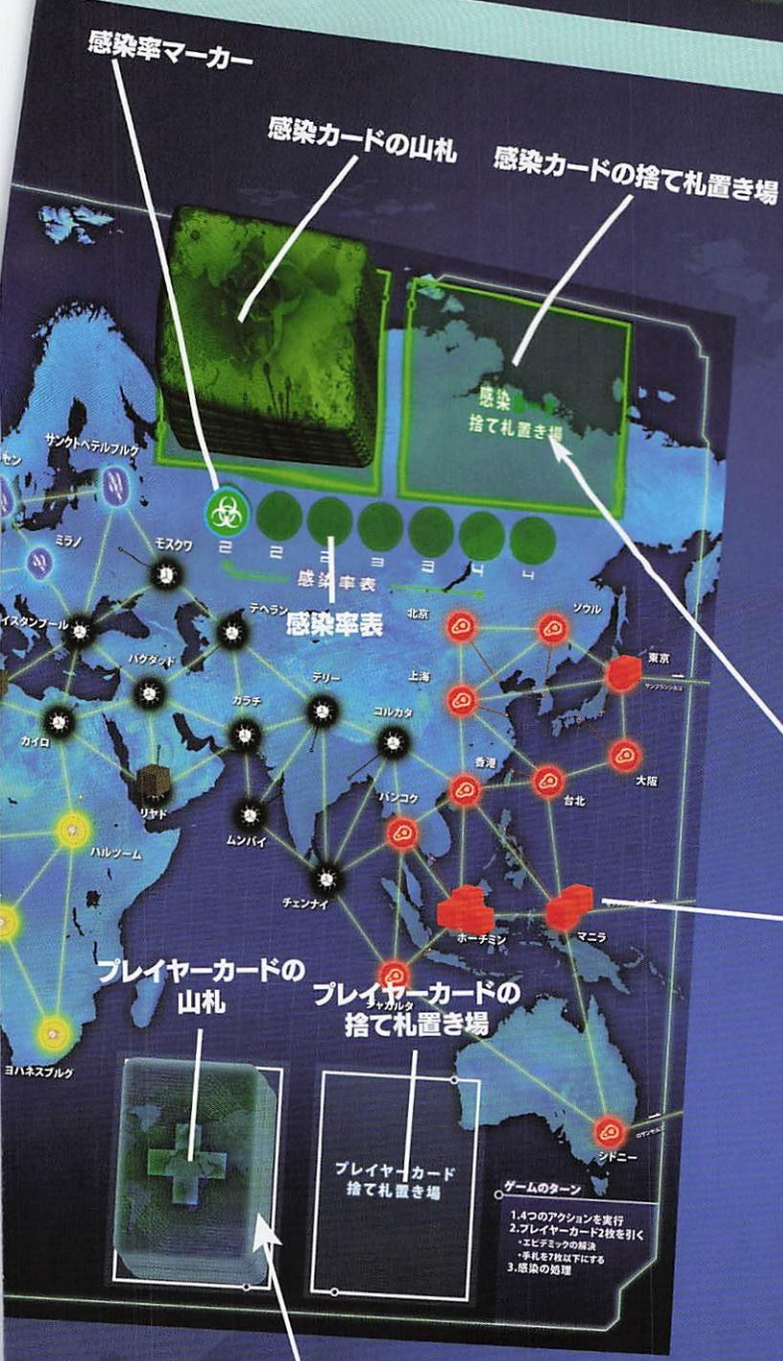
各プレイヤーは参照カードを1枚ずつ受け取ります。役割カードをシャッフルして、各プレイヤーの手前に1枚ずつ表向きに配置します。各プレイヤーは配られた役割カードと同じ色のプレイヤーコマを受けとり、すべてアトランタに配置します。残りの役割カードとプレイヤーコマはゲームから取り除きます（今回のゲームで使用しません）。



プレイヤーカードの中から6枚のエピデミックカードを取り出し、脇に置いておきます（準備のステップ5で使用します）。残りのプレイヤーカード（都市カードとイベントカード）をシャッフルし、プレイ人数に応じた枚数を各プレイヤーへ配り、最初の手札とします。プレイ人数ごとの初期手札の枚数は以下の通りです：



プレイ人数	カード枚数
2人ゲーム	4枚
3人ゲーム	3枚
4人ゲーム	2枚



3 感染率マーカーの配置と、9都市の感染

感染率マーカーを、感染率表の一番左側の「2」のスペースに配置します。
感染カードをシャッフルし、上から3枚を公開します。
公開した感染カードの都市に、その色の病原体コマを3個ずつ配置します。
さらに3枚を公開し、その都市にその色の病原体コマを2個ずつ配置します。
さらに3枚を公開し、その都市にその色の病原体コマを1個ずつ配置します。
(これで、合計18個の病原体コマを9つの都市に配置したことになります。)
ここで公開した9枚のカードは、表向きに感染カードの捨て札置き場に置きます。
残りの感染カードは1つの裏向きの山札にして、感染カードの山札に置きます。



カードの色と同じ病原体コマを使用する

6 プレイの開始

各プレイヤーは自分の手札のプレイヤーカードの都市を確認します。
最も人口の多い都市が手札にあるプレイヤーが先手になります。



初めてゲームをする場合は、エピデミックカード4枚でプレイしてください。

標準レベルをマスターしたら、6枚に挑戦してください。

5 プレイヤーカードの山札を作る

ゲームの難易度により、使用するエピデミックカードの枚数は異なります。入門レベルでは4枚、標準ゲームでは5枚、英雄レベルでは6枚を使用します。

残りのプレイヤーカードを、今回の難易度で使用するエピデミックカードの枚数と同じ数だけ、できるだけ同じ枚数になるように裏向きのまま分け、それぞれ山札にします。次に分けたプレイヤーカードの山札1つにつき1枚ずつエピデミックカードを加えてシャッフルし、一番枚数が少ない山札が一番底になるように、裏向きのまま重ねて1つの山札にし、プレイヤーカードの山札のスペースに配置します。

ゲームのプレイ

各プレイヤーの手番は、以下の3つのステップに分かれています:

1. 4つのアクションを実行する
2. プレイヤーカード2枚を引く
3. 感染の処理

感染の処理が終了したら、左隣のプレイヤーの手番に移行します。

プレイ中、プレイヤー同士で自由に意見を述べ合い、相談することは問題ありません。しかし、何を実行するかは現在の手番のプレイヤーが決めてください。

プレイヤーは、都市カードとイベントカードを手札に持つことができます。都市カードはアクションの実行時に使用し、イベントカードはいつでも使用することができます。

アクションの実行

プレイヤーは自分の手番にアクションを最大4つまで実行できます。

以下で説明するアクションから選んで組み合わせてください。1回の手番中に同じアクションを複数回実行することも可能ですが、それぞれを1アクションとして数えます。自分の役割の特殊能力により、実行できるアクションの数が変わることもあります。自分の手札から捨て札が必要なアクションもあります。捨て札にしたカードは、プレイヤーカードの捨て札置き場に置きます。

移動アクション



自動車または船による移動

自分のコマを、白線でつながった隣接する都市へ移動する。



直行便による移動

都市カード1枚を捨て札にし、その都市カードの都市へ自分のコマを移動する。



チャーター便による移動

自分が現在いる都市のカードを捨て札にし、自分のコマを好きな都市へ移動する。



シャトル便による移動

自分のコマが調査基地のある都市にいる場合、自分のコマを他の調査基地がある都市へ移動する。



ゲームボードの縁で切れている白線は、ゲームボードの反対側の白線とつながっているとみなします。
例:シドニーとロサンゼルスは白線でつながっている。

その他のアクション



調査基地の設置

手札から自分のコマが現在いる都市名のカードを捨て札にすることで、その都市に調査基地1つを設置します。ゲームボード横のストックから調査基地コマを取って、その都市に配置します。すでに6つの調査基地が設置済みの場合、他の都市に設置した調査基地を現在いる都市へ移動します。

サプライに7個以上調査基地がある場合、余分な調査基地はゲームの準備の時に脇によけておいて下さい。

感染者の治療



自分のコマがいる都市にある病原体コマ1個を取り除き、ゲームボード横のストックに戻します。すでにその色の病原体の治療薬が発見されている(治療薬の発見の項を参照)場合、1つのアクションで、その都市にあるその色の病原体コマすべてを取り除きます。

治療薬が発見済みの病原体コマがすべてゲームボードから取り除かれたら、その病原体は根絶されたとみなします。その色の治療薬マーカーを、"ビン側"から"⊘"側へ裏返します。

1つの都市に、治療薬発見済みの病原体コマが複数種類ある場合でも、各色につき1回ずつ感染者の治療のアクションを実行する必要があります。

病原体の根絶自体は勝利条件ではありません。しかし、ある都市が根絶された病原体に感染しても、その色の病原体コマがその都市に新たに置かれることはありません(6ページのエピデミックと感染の処理の項を参照)。治療薬が発見されていない病原体コマがボード上から全て取り除かれても、根絶されたわけではありません。

知識の共有



このアクションには以下の2つの方法があります:

自分が現在いる都市のカードを自分の手札から同じ都市にいる他のプレイヤーへ渡す、または、自分が現在いる都市のカードを同じ都市にいる他のプレイヤーから受け取ります。

このやり取りをする相手プレイヤーは、自分と同じ都市にいなければなりません。このやり取りは両者の同意が必要です。

カードを受け取ったことにより手札枚数が7枚を超えてしまったプレイヤーは、その場で手札が7枚になるように捨て札をするか、イベントカードを使用しなければなりません(7ページのイベントカードの項を参照)。

例:あなたの手札にモスクワの都市カードがあり、あなたと他のプレイヤーが共にモスクワにいる場合、あなたはモスクワの都市カードをそのプレイヤーへ渡すことができます。または、あなたと他のプレイヤーがモスクワにいて、そのプレイヤーがモスクワの都市カードを持っている場合、あなたはそのプレイヤーからモスクワの都市カードを受け取ることができます。どちらの場合も、両者ともに同意している必要があります。



治療薬の発見



自分のコマが調査基地のある都市にある場合、自分の手札から同じ色の都市カード5枚を捨て札にすることで、その色の治療薬を発見します。その病原体の治療薬マーカーを、ゲームボードの発見された治療薬の所定のスペースに移動します。

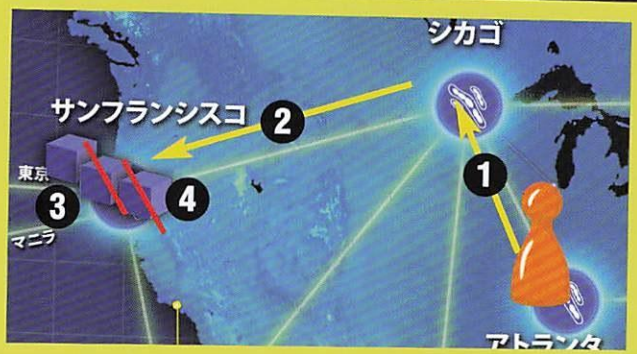
治療薬が発見済みの病原体コマがすべてゲームボードから取り除かれていたら、その病原体は根絶されたとみなします。その色の治療薬マーカーを、"ビン側"から"⊘"側へ裏返します。

治療薬を発見しても、その病原体コマはボード上に置かれたままで、エピデミックや感染の処理(6ページのエピデミックと感染の処理の項を参照)により、ゲームボード上に新たに置かれます。しかし、この病原体を治療すれば、勝利に近づくことができるでしょう。

ゲームプレイの例：最初の手番で、ベンはアクションを4つ実行する：

（1）アトランタからシカゴへ車で移動、（2）サンフランシスコへ車で移動、（3）サンフランシスコで感染者を治療して青の病原体コマ1個を取り除き、（4）再びサンフランシスコで感染者を治療して2個目の青の病原体コマを取り除いた。

これでベンは自分の手番のアクションのステップを完了した。



ゲームプレイの例：ゲームの終盤で、赤の病原体の治療薬が発見された。

赤の病原体コマ3個がマニラに残っていて、科学者（白のプレイヤーコマ）であるアンナは、マニラで自分の手番を迎えた。アンナは、（1）マニラで感染者の治療を実行し、1つのアクションで赤の病原体コマ3つすべてを取り除いた（赤の病原体の治療薬が発見済みのため）。これで赤の病原体は根絶され、赤の治療薬マーカーは“⊘”側へ裏返す。





作戦エキスパート（緑のプレイヤーコマ）のジョージは調査基地のあるチェンナイにいる。ジョージはアンナに、自分はチェンナイの都市カードを持っているので、チェンナイまで来ればそのカードを渡すことができる旨を、アンナに提案した。アンナは手札からマニラの都市カードを捨て札にし、（2）チャーター便による移動で、自分のプレイヤーコマをチェンナイへ移動した。





次にアンナは、（3）知識の共有を実行し、ジョージからチェンナイのカードを受け取った。これによって、アンナの手札に黒の都市カードが、治療薬の発見には足りない4枚になった。





しかし、アンナは科学者であるため、同一の色のカード4枚だけで、その色の病原体の治療薬を発見することができる。アンナは、（4）チェンナイの調査基地で黒の都市カード4枚を捨て札にして、治療薬を発見した。黒の病原体の治療薬マーカーを、ゲームボードの発見された治療薬の所定のスペースに移動する。

これでアンナは自分の手番のアクションのステップを完了した。



カードを引く

4つのアクションを実行した後、プレイヤーカードの山札の上から2枚のカードを引きます。

カードを引かなければならない時に、プレイヤーカードの山札の残りが1枚以下の場合、その時点でゲームは終了となり、プレイヤーチームの敗北です。(捨て札をシャッフルして新たに山札を作り直すことはしません。)

エピデミックカード

引いたカードの中にエピデミックカードがあった場合、即座に以下の手順を順番に実行します:

1. 感染率の上昇: ゲームボードの感染率表にある感染率マーカーを1スペース分移動します。

2. 感染: 感染カードの山札の一番下のカードを引きます。その感染カードの色の病原体が根絶されていないかぎり、そのカードの都市に、その色の病原体コマ3個を配置します。その都市にすでにその色の病原体コマがあった場合、1つの都市に同一の色の病原体コマは3個までしか存在できないため、3個を超える分の病原体コマはストックへ戻し、その都市でアウトブレイクが発生します(アウトブレイクの項を参照)。引いた感染カードは感染カードの捨て札置き場に置きます。

ストックの残りの病原体コマの数が足りず、必要な数の病原体コマが配置できない場合、その時点でゲームは終了となり、プレイヤーチームは敗北します。これは、エピデミックやアウトブレイクや感染の処理の解決中(アウトブレイクと感染の解決の項を参照)に発生します。

3. 度合いの増加: 感染カードの捨て札にあるカードを裏向きにしてシャッフルし、残りの感染カードの山札の上に置きます。

このステップを実行する際、感染カードの山札の一番下のカードを引くことと、感染カードの捨て札だけをシャッフルして残りの感染カードの山札の上に置くことを忘れないでください。

非常に稀なケースではありますが、引いた2枚が両方ともエピデミックカードである可能性があります。この場合、1枚目のエピデミックカードの3つのステップすべてを完了した後、もう1枚のエピデミックカードの処理をします。

上記の場合、2枚目のエピデミックのときは、感染カードの山札の上に置くカードは、一番下から引いた1枚だけになります。
この都市では、次の感染の処理のときに、イベントカード(7ページのイベントカードの項を参照)で防がないかぎり、必ずアウトブレイクが発生します。

エピデミックカードは解決の後、ゲームから取り除きます。代わりのカードの引き直しはしません。

手札の上限枚数

自分の手札が7枚を超えていた場合(エピデミックカードを引いた場合は、その解決の後)、捨て札をするか、イベントカードを使う(7ページのイベントカードの項を参照)かをして、自分の手札を7枚まで減らさなければなりません。

ゲームプレイの例(続き):アンナはカードを2枚引いた。2枚ともエピデミックカードではなく、手札合計も上限枚数の7枚以内のため、アンナはそのまま手番を続けた。



感染の処理

感染カードの山札の上から現在の感染率と同じ枚数のカードを公開します。公開する枚数は、感染率マーカーがあるスペースの下に表示されている数になります。感染カードは1枚ずつ公開し、カードに表示されている都市の感染の処理が終了してから次のカードを公開します。

都市の感染は、このとき公開したカードに表示されている都市に、その色の病原体コマ1個を置きます(ただし根絶されている病原体コマは置きません)。病原体コマを置く都市に、すでにそのコマと同じ色の病原体コマが3個置かれていた場合は、4個目の病原体コマは配置せずに、その都市でその色の病原体のアウトブレイクが発生します(アウトブレイクの項を参照)。感染の処理をした感染カードは、感染カードの捨て札置き場に置きます。





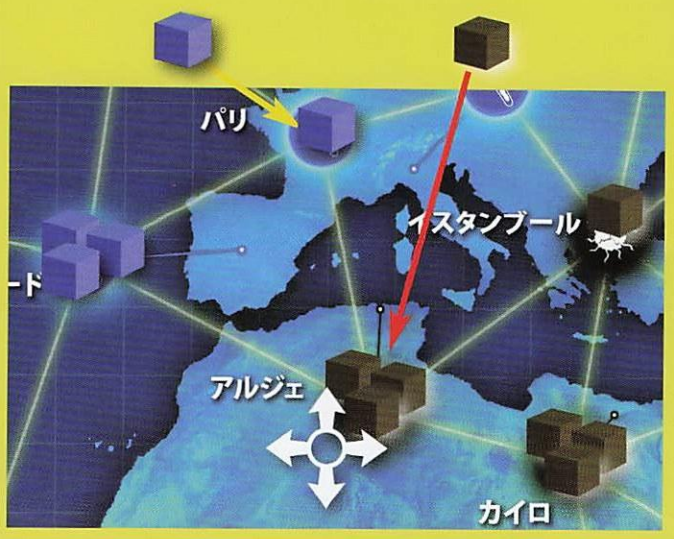


ゲームプレイの例(続き):アンナは自分の手番を、感染の処理で終える。現在の感染率は3のため、アンナは感染カードの山札の上から3枚、ソウル、パリ、アルジェを公開した。

赤の病原体は根絶されているため、ソウルの感染カードはそのまま捨て札に置いた。

パリには青の病原体コマが1個置かれていたので、2個目の青の病原体1個を追加で配置し、パリの感染カードを捨て札に置いた。

黒の病原体はすでに治療薬が発見されているが、まだ根絶されていない(黒の病原体コマはまだゲームボード上に配置されている)ため、アンナはアルジェを感染させなければならない。アルジェにはすでに黒の病原体コマが3個置かれていたため、4個目の病原体コマを置く代わりに、アルジェで黒の病原体のアウトブレイクが発生する。



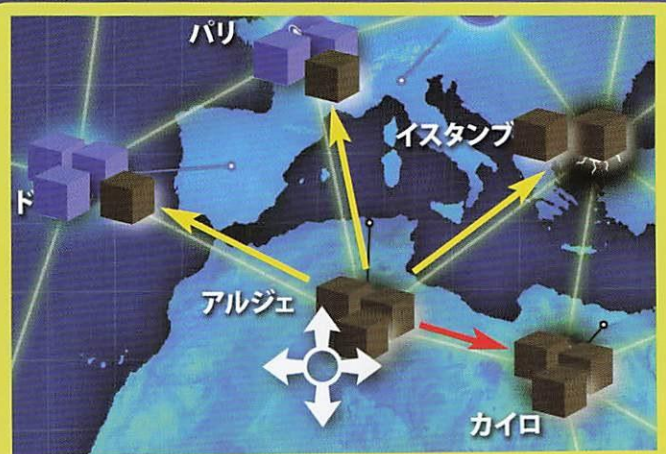
アウトブレイク

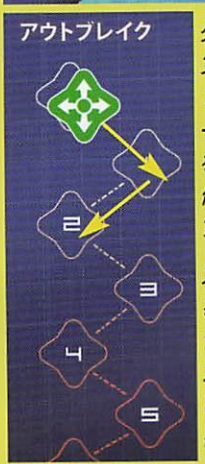
病原体のアウトブレイクが発生したら、ゲームボードのアウトブレイク表のアウトブレイクマーカーを1スペース分進めます。次に、その都市に白線でつながった隣接する都市すべてに、その色の病原体コマを1個ずつ配置します。隣接している都市に同じ色の病原体コマがすでに3個配置されていた場合は、4個目は置かずにその都市でもアウトブレイクが発生します。これがアウトブレイクの連鎖反応になり、現在のアウトブレイクを解決した後、その都市のアウトブレイクを解決します。

アウトブレイクの連鎖反応が発生したら、最初にアウトブレイク表のアウトブレイクマーカーを1スペース進めます。次に、上記と同様に隣接する都市に病原体コマを配置します（連鎖の元となったアウトブレイクが発生した都市には置きません）。アウトブレイクの連鎖反応は、現在の感染カードの解決の一部としてみなします。1枚の感染カードの解決中は、同じ都市で複数回のアウトブレイクは発生しません。

アウトブレイクの結果、1つの都市に複数色の病原体コマがそれぞれ最大3個ずつまで置かれることがあります。これは、感染の処理には影響しません。

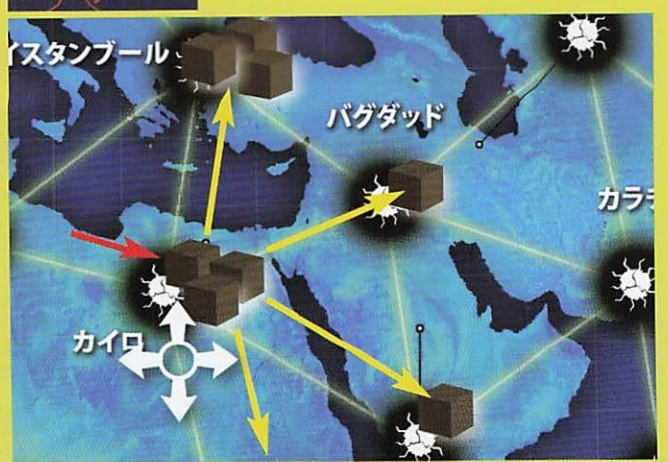
アウトブレイクマーカーがアウトブレイク表の最後のスペース(ドクロのスペース)まで移動すると、その時点でゲームは終了となり、プレイヤーチームの敗北になります。





ゲームプレイの例(続き)：アルジェで黒の病原体のアウトブレイクが発生した。アンナはアウトブレイクマーカーを1スペース分進め、アルジェに隣接する都市であるマドリードとパリとイスタンブールとカイロに、黒の病原体コマを1個ずつ配置する。しかし、カイロにはすでに黒の病原体コマが3個配置されていたため、病原体コマは追加せず、カイロで連鎖反応のアウトブレイクが発生する。

アンナはアウトブレイクマーカーをさらに1スペース進める。次にカイロに隣接するイスタンブールとバグダッドとリヤドとハルツームに、黒の病原体コマを1個ずつ配置する。アルジェは今回の感染カードですでにアウトブレイクしているため、連鎖のアウトブレイクの影響を受けない。その後、アンナはアルジェの感染カードを捨て札に置いた。



手番の終了

全ての感染カードを解決し、感染カードの捨て札に置いたら自分の手番は終了となり、左隣のプレイヤーの手番を始めます。

イベントカード



手番中は、どのプレイヤーもイベントカードを使うことができます。イベントカードの使用は、アクションではありません（アクションを消費しません）。イベントカードを使用するプレイヤーが、どのように使用するかを決めます。

イベントカードは、カードを引いて解決している間を除き、いつでも使用可能です。

エピデミックカード2枚を一緒に引いたときは、イベントカードは最初のエピデミックの解決の後であれば使用可能です。

例：感染の処理中、最初の感染カードでアウトブレイクが発生した。この場合は、検疫官を移動させてアウトブレイクの発生を防ぐために、「空輸」のイベントカードを使用することはできない。しかし、このアウトブレイクの発生の後、次の感染カードを公開する前に、検疫官を移動して他の都市を守るために「空輸」のイベントカードの使用は可能である。

イベントカードは、使用したらプレイヤーカードの捨て札置き場に置きます。

プレイヤーカード

初級レベル（エピデミックカード4枚）でゲームをする際は、自分の手札のプレイヤーカードは表向きに自分の手前に置いて、全員が見えるようにするとよいでしょう。

手札の上限枚数に関係するのはプレイヤーカードだけです。役割カードや参照カードは手札とは見なしません。

標準レベル（エピデミックカード5枚）や英雄レベル（エピデミックカード6枚）でゲームをプレイする場合は、自分の手札は他のプレイヤーに見られないようにし、会話による手札の情報のみでプレイしてください。

全員が望むのであれば、ゲームに慣れたグループでも、手札を公開してプレイしても構いません。

プレイヤーはゲーム中いつでも、捨て札置き場のカードを確認することができます。

ゲームの終了

4つの病原体の治療薬全てを発見したら、その時点でプレイヤーの勝利です。

4つの病原体すべてを根絶させる必要はなく、治療薬さえ発見すれば勝利できます。全ての病原体の治療薬を発見した時点でゲームは終了となり、ゲームボード上に病原体コマがまだ残っていても、プレイヤーチームの勝利です。

以下の3つの状況になると即座にゲームは終了し、プレイヤーチームの敗北となります。

- アウトブレイクマーカーが、アウトブレイク表の最後のスペースに到達したとき。
- プレイヤーが病原体コマをゲームボードの配置する必要があるときに、ストックの残りの病原体コマが足りなくなったとき。
- アクションの実行後、プレイヤーカード2枚を引くときに山札のプレイヤーカードが足りなくなったとき。

役割

どのプレイヤーも、自分たちのチームを有利にする特殊能力を持つ役割に就きます。



危機管理官

危機管理官は、1アクションを使って、プレイヤーカードの捨て札にあるイベントカード1枚を取り、役割カードの上に置くことができます。役割カードの上に置くことができるイベントカードは1枚だけです(そのイベントカードの使用後に再度置くことは可能です)。このイベントカードは手札の枚数には数えません。

役割カードの上のイベントカードは通常のイベントカードのように使用できますが、使用後は捨て札には置かず、ゲームから取り除きます。



通信指令員

通信指令員は、1アクションを使って、以下のいずれかを実行できます:

- 仲間のプレイヤーのコマを、そのプレイヤーの同意があれば、プレイヤーコマがある別の都市へ移動します。
- 他のプレイヤーのコマを、そのプレイヤーの同意があれば、自分のコマと同じ要領で移動します。

他のプレイヤーのコマを自分のコマと同じ要領で移動する際、直行便やチャーター便のときには自分の手札から捨て札をする。チャーター便の場合は、移動するコマがある都市のカードを捨て札にする。

通信指令員は、他のプレイヤーのコマは移動だけしかできず、他のプレイヤーのコマに感染者の治療など、他のことを実行させることはできません。



衛生兵

衛生兵は、感染者の治療のアクションを実行するとき、病原体コマ1個ではなく、同じ色のコマ全てを取り除くことができます。

その病原体の治療薬が発見済みの場合、自分の移動先の都市にあるその色の病原体コマ全てを自動的に取り除きます。これはアクションを消費しません。

衛生兵は、他のプレイヤーの手番でも、通信指令員や空輸で移動させられた時点で、自動的に病原体コマの除去を行う。

また、衛生兵は自分がいる場所に、治療薬発見済みの病原体コマが置かれること(及びその病原体コマのアウトブレイク)を防ぎます。



作戦エキスパート

作戦エキスパートは、1アクションを使って、以下のいずれかを実行できます:

- 手札の都市カードを捨て札に(使用)せずに、自分のいる都市に調査基地を設置します。
- 各手番に一度、自分が調査基地にいるとき、いずれかの都市カードを捨て札にすることで、好きな都市へ移動します。

通信指令員は、作戦エキスパートのコマを移動する際に、作戦エキスパートの特殊能力による移動を使うことができない。



検疫官

検疫官は、自分がいる都市と、その都市に隣接するすべての都市に病原体コマが置かれること(とアウトブレイク)を防ぎます。ゲームの準備中に配置される病原体コマには効果がありません。



研究員

研究員は、1アクションを使って、自分の手札の都市カード1枚を、同じ都市にいる他のプレイヤーへ渡す際に、自分がいる都市以外のカードを渡すことができます。このカードの受け渡しは、自分の手札から他のプレイヤーへ渡すだけで、自分の手番でも相手の手番でも実行できます。



科学者

科学者は、同じ色の都市カード4枚(5枚ではなく)を捨て札にすることで、その色の病原体の治療薬を発見できます。

以下の点に注意

- エピデミックカードを引いた後にプレイヤーカードの引き直しはしません。
- 治療薬の発見はどの調査基地でも可能です。調査基地のある都市の色と発見する治療薬の色が一致している必要はありません。
- 自分の手番に、同じ都市にいるプレイヤーから、その都市のプレイヤーカードを受け取ることは可能です。
- 自分の手番に、同じ都市にいるプレイヤーが研究員であれば、どの都市のカードでも受け取ることが可能です。
- 手札の制限枚数は、他のプレイヤーからカードを受け取った時点でも適用します。

CREDITS

Game design: Matt Leacock
Development: Team Z-Man Games
Artwork: Chris Quilliams
Special thanks to Donna Leacock, Hillary Carey, Chris and Kim Farrell, Rich Fulcher, Ken Tidwell, Corbin Nash, Jim Cote, Steve Duff, Wei-Hwa Huang, and,
for additional testing, Beth Heile and John Knoerzer.
Very special thanks to Tom Lehmann for his assistance.

日本語版発売元
株式会社ホビージャパン
東京都渋谷区代々木2-15-8
cardgame@hobbyjapan.co.jp

Z-MAN games
1995 West County Road B2
Roseville, MN 55113, USA
(651) 639-1905

© 2013 Z-Man Games. Pandemic, Z-Man Games, and the Z-Man Games logo are ® of Z-Man Games. Apple an the Apple logo are trademarks of Apple, Inc., registered in the U.S. and other countries. App Store is a service mark of Apple Inc. Google Play is a trademark of Google, Inc. Amazon is a trademark of Amazon.com.
画像と実際の内容物は異なる場合がございます。Made in China　警告！誤飲のおそれのある小さな部品が入っていますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。